



ぼくらは未来の酪農家!

収穫の季節を迎えた9月15日(土)、アスバ五色では洲本市農業祭が開かれ、快晴の秋空の下、大勢の市民でにぎわいました。
写真の「ジュニアシヨーマンシップシヨ」では、元氣よく牛を引く未来の酪農家に、会場から温かい拍手が送られました。

2012.10 ラインアップ

広がる地産地消の取り組み …… P2-5
地域ぐるみで『野生鳥獣被害対策』 …… P6
定住自立圏構想の「中心市宣言」を行いました P7
新庁舎整備等基本計画の策定
古茂江港の臨港地区指定(案)の縦覧ほか … P8
南三陸町へ職員を派遣、
ぎふ清流国体出場者の壮行会 …… P9
保育所(園)・幼稚園の入所入園の募集 … P10

インフルエンザ予防接種、国民健康保険被保険者証の更新ほか P11
地域防災訓練、住宅の簡易耐震診断ほか … P12
洲本市美術展、図書館市民まつり、下水道施設見学会、
市民の警察官表彰・暴力団追放洲本市民大会の開催 P13
くらしのいきいき情報 …… P14-16
健康だよりほか …… P17
公共施設からのお知らせ …… P18-19
まちかどトピックス …… P20

おいしいね洲本産!

広がる地産地消の取り組み



地元で採れた農畜水産物などを地元で消費する「地産地消」。最近では、産地直売所、イベント会場などで、地元の人や観光客に買ってもらうスタイルが定着しています。
今月号では、市内で行われている「おいしい洲本産」を「地産地消」する取り組みを紹介します。

そこにある
おいしいものを

身近な地域でとれたものを、身近に住む者が消費する「地産地消」。

消費者にとっては、新鮮なものを「旬」に食べることができ、生産者にとっては、身近な人が食べてくれる喜びを感じるができる、そして、地産地消の取り組みが広がることで「食」と「農」の距離が縮まることも期待されています。

御食国のめぐみ

本市は、古くから朝廷に食材を献上していた御食国淡路島の中央に位置し、現在もおいしいお米やたまねぎ、青物野菜、果物、淡路牛や魚介類など、多種多様な農産物、畜産物、水産物を大阪や神戸などに供給する一大産地です。

近年、市内各所で直売所や青空市が開かれ、地元産のものが比較的容易に手に入られるようになりました。

このような中、直売所や青空市以外でも、地産地消の動きが広がっています。

学校給食を地産地消で

子どもたちに地元産の良さを伝えたい



学校給食も 地元産の割合を拡大

地産地消の取り組みは、市内の学校給食の現場でも行われ、学校給食食材の市内産、島内産、県内産の使用割合を増やしています。

学校給食での地産地消は、食育の観点や地場産業を学ぶ面からも有効と考えられています。

地元産食材を 使った献立

市では、地産地消の取り組みの推進と啓発のため、毎年「地産地消学校給食メニュー」の一般公募（小中高生対象）を行っています。これまで、37のメニューが選ばれ、実際の給食に取り入れられました。メニューの選定は、調理員の調理実習を兼ねた試食会形式で行い、農林水産関係者も参加し、子どもたちが食べやすいか、学校給食の調理に適しているかなどの視点も含めて選定しています。

地産地消の日

平成21年度からは、学校給



食で月2回「地産地消の日」を設定し、地元産を中心とした献立を作成。給食だよりのコラム記事、レシピ紹介などを通して、保護者にも啓発しています。このほか、年間を通じて市内産、島内産、県内産、国内産を優先順位とした発注を行っています。

お米は 洲本産100%

野菜などと比べ、安定した品質と数量が確保しやすい米は、市内の学校給食の100%が市内産キヌヒカリを使用しています。特に、五色給食センターでは、地産地消の日に地域のブランド米である鮎原米や台鴨米も使用しています。

今後の目標

現在、本市では米飯給食の割合を週3回としています。平成26年度には、週4回とすることを目標に順次回数を増やします。

また、五色給食センターでは、安定して一定量を確保できる品目は、地元産の使用機会を増やし、地元産の使用率の向上を目指すとともに、洲本地域を対象とする新しい給食センターでも、地産地消に取り組みたいと考えています。

地産地消に取り組むことで、子どもたちが郷土理解を深め、地元産の良さを知るとともに、自然の恵みと生産者に感謝し、食べ物をおいしく頂ける子どもに育てたいと考えています。



施設で地産地消

地元農家と特養のユニークな関係



特養の食事を地産地消でまかなう

中川原地区にある社会福祉法人「特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷」(施設長・大矢暹おほやさん)では、安全面や調理の簡便性などから、冷凍食品に頼りがちな施設内の食事を地元産の産品でまかなうという地産地消に取り組んでいます。ここでは、開設当初から、

直営調理や、使用食器を陶器のものにするなど、より良い「食」の提供に取り組んでいます。今では、米の100%、野菜類の平均7割以上を中川原産のものが占め、肉類や魚についても、極力、淡路産のものを使用しています。

はじまりは青空市

この施設へ野菜を納入して

いるのは、中川原地区内の「市原 青空会」です。

同会は、平成13年頃から、週末に県道沿いで青空市を開催。同地域の会員農家の家で採れた野菜などを販売していました。

この会に転機が訪れたのは、平成18年。地元の新鮮な農産品を施設内の食事に取り入れたいと施設側から開設前に申し出がありました。

逆転の発想で

同会で世話人をつとめる國田保彦さんは、「初めはその数量の多さや毎週のこと、大丈夫かなと思った」と話します。

同会のメンバーは、規模の小さな農家がほとんどで、一定の品質を保ち、1回100食に必要な野菜を定期的に揃えるのは大変なことです。

これに対して同施設の栄養士山中尚美さんは、「納入される野菜に合わせて献立を見直すこともしばしばあるため、同じ材料のものが続いたり、急にメニューが変わったり、でも、逆にそれが旬を感じることもありません」と話します。

また、値段の面でも「安い冷凍食品を使わない分、コストはかかるが、曲がったキュウリや傷のある野菜を安くしてもらうなど、互いに相談して納得する値段にしていた方がいいですよ」と言います。

作る人と食べる人が共に笑顔で

野菜を作る生産者にとって、食べてくれる消費者の顔が見えるのはうれしいこと。同会

の國田さんは、「納入することが生きがい、やりがいになるし、栄養士さんや、調理員さん、施設の人とも友達になって、ふくろうの郷に納入せんなんから、百姓やめられへんわ」と笑顔で話します。

同施設の山中さんも、「地産地消は、衛生面や数量確保、在庫管理など柔軟な対応ができません」と難しい。でも、青空会の皆さんが、丹精込めて育てた野菜はおいしくて、調理するのもうれしい」と言います。

今夏には、入所者が同会メンバーの畑を訪れ、畑の見学や収穫体験を行い、生産者と消費者で交流が持たれるなど、農と食、生産者と消費者の新しい関係が始まっています。



ホームページで

地産地消を後押し

広がりをもせる

地産地消

このほかにも、市内のレス

トランなどでは、地元産の食材を積極的に取り入れ、メニューに「洲本産」、「淡路産」などと表示し、ブランド化を図る動きも見られます。

中には、シェフ自らが産地直売所で食材を購入したり、

地場産をPR

知り合った農家から直接仕入れたりすることや、食材の情報交換をして、メニュー開発に活かすこともあると言います。

地産地消の広がりの中、農政課では、市内外の人に洲本産食材の発信力を強化するため「洲本市 食の探検ページ」と題したホームページを6月

に開設しました。

ホームページ制作にあたっては、市内レストランのシェフやスーパーマーケット、生産農家や主婦などにインタビューを行い、どのような情報に興味があるか、洲本産の食材への期待などを聞きましました。

その結果を踏まえ、「旬の食材カレンダー」、「すもと食材・大図鑑」、「生産・加工・飲食店・直売所の紹介」などのコーナーを設け、洲本の食材をさまざま角度から知ってもらえる

「地産地消」を広げよう

よう工夫しています。中でも「レシピ」には、洲本産食材を使ったプロの料理人のレシピを公開するページがあり、その作り方を動画で、わかりやすく紹介しています。

自分の食べている物が、どこで作られているのかに目を

向けることから地産地消は始まります。皆さんの食卓には洲本産はどのくらい上っているでしょうか。

市では、洲本の農家が丹精込めて作った農畜産物や、洲本の海で収穫された海産物をもっと多くの人に食べていただきたいと考えられています。実りの秋、今日もおいしい洲本産を食べませんか。



▲ホームページ
<http://shoku-no-tanken.city.sumoto.hyogo.jp/>



小特集

くみんなで作る私たちのまち

地域ぐるみで

『野生鳥獣被害対策』を 考えてみませんか

自然環境や社会情勢の変化に伴い、さまざまな問題が私たちの周りに表れています。この問題を解決しようとするまちぐるみでの取り組みについて紹介します。
第1回は、「野生鳥獣被害対策」です。

野生動物による

農作物被害の増加

近年、本市においても、シカやイノシシなどの野生動物による農作物被害が増加しています。個別の農家による対応では十分に防ぐことができ

ないのが現実です。また、行政だけで被害対策が完結するわけではありません。特に、防止柵などの維持管理は地域の協力が不可欠です。地域ぐるみでの取り組みや、地域と行政が連携しての対応が重要になってきます。



広石中地区の里山歩き



侵入防止柵の設置

地域ぐるみで

被害を防ぐ

野生鳥獣による農作物被害の軽減対策として、地域全体でイノシシ被害軽減の緩衝帯を活用している集落があります。

広石中地区では、町内会や農会が中心となって、同じ悩みを抱える人や山林の所有者などに協力を呼びかけ、県のイノシシ被害軽減事業を活用しました。

この事業は、イノシシの侵入を食い止めるため、人里近くの林を手入れして緩衝帯にするものです。

同事業の整備後は地元の団体が草刈りや木の伐採などの

関心を持つことが大切

私の田んぼもよくイノシシに荒らされて困っていましたが、緩衝帯のおかげで、イノシシによる農作物被害が減り、助かっています。緩衝帯の維持管理が一番大事ですから、集落の人みんなに関心を持ってもらうことが大切と思い、里山歩きのイベントもしています。



中の上育成林整備事業
代表 徳田 正 さん

みんなが定期的に草刈りをして、山林の手入れができれば、イノシシが田んぼに下りて来るとも思いませんよ。

維持管理を行っています。

同団体では、緩衝帯の維持管理に関心を持ってもらおうと、緩衝帯を歩く里山歩きイベントを4月と8月に開催しました。

地域ぐるみで

侵入防止柵を設置

緩衝帯の活用他に、地域が取り組む対策として、シカやイノシシが侵入して来ないように、地域ぐるみで設置する侵入防止柵があります。これは、地域の農家など関係者全体の合意で設定した区域を対象に、地域ぐるみで柵を設置する方式です。市では柵の設置にあたり、資材の現物支給を行っており、8月時点で、22カ所の集落が侵入防

捕獲体制の強化

市では農作物被害の軽減のため、侵入防止柵の資材助成以外に、捕獲体制の強化として、狩猟免許の取得や有害鳥獣捕獲許可者への補助なども行っています。地域のみならずの相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

市農政課（五色庁舎）
☎ 33-1924（直通）

定住自立圏構想の 「中心市宣言」を行いました

10月1日、洲本市は定住自立圏構想の「中心市宣言」を行い、今後、定住自立圏の形成をめざし、圏域において中心的な役割を担う意思があることを表明しました。

定住自立圏構想

定住自立圏構想とは、国の進める施策であり、複数の市町村が連携・協力して圏域を形成し、住民生活に必要な都市機能・生活機能を圏域全体で確保し、圏域の一体的発展と定住人口の促進を図るための取り組みです。

中心市宣言

人口規模など、国が定める一定の条件を満たす市が中心的な役割を担うことを宣言するものです。

淡路島定住自立圏 中心市宣言

洲本市は、瀬戸内海に浮かぶ淡路島のほぼ中央部に位置しており、中世以後淡路地域の政治、経済、文化の中心として発展してきました。淡路島は気候風土が穏やかで、山海の幸に恵まれ、万葉の時代には朝廷に食材を献上する「御食国」であり、現在も風光明媚な自然や豊かな食を求めて多くの観光客が訪れる観光地としても知られています。また、洲本市の中心に、明治、大正期に建てられた紡績工場のレンガ建物が、レストランや図書館などに姿を変え、近代化産業遺産を今に伝えています。

淡路島は今、急速に進む人口減少、少子高齢化、経済の低迷など、一つの自治体では対応困難な課題に直面しています。こうした中、兵庫県、淡路島三市が共同で「あわじ環境未来島特区」を国に申請し、平成23年12月22日に国の地域活性化総合特区に指定されました。「あわじ環境未来島特区」は、「生命つながる環境の島」として、「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」の三つの柱を掲げ、エネルギー、農と食、暮らしの三つの分野で淡路島の可能性を引き出し、地域の自立力・持続力を高めていくための様々な取組を出来ることから進め、国内や国内外の先進的モデルとなる地域づくりを推進することとしています。

こうした特区の事業を更に推進し、また、人口減少、少子高齢化、経済の低迷といった課題に取り組むために、国が掲げる定住自立圏構想の下、本市を中心市として「淡路島定住自立圏」を形成し、連携する市と役割を分担・協力しながら暮らしに必要な生活機能を確保し、活力・魅力ある淡路島を実現していくことをここに宣言します。

平成24年10月1日

洲本市長 竹内 通弘

中心市は、連携する市町村と圏域全体における定住人口の増加を図るため、協力しながら、定住自立圏の形成を行います。

定住自立圏構想の流れ

中心市宣言を行った後の流れは、左記の通りです。

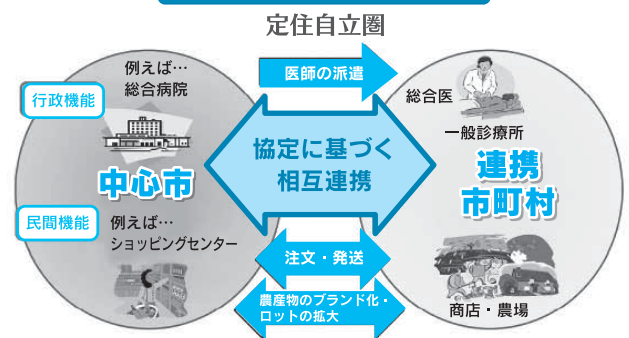
中心市宣言

定住自立圏形成協定の締結

定住自立圏共生ビジョンの策定

連携事業の実施

定住自立圏のイメージ



中心市と周辺市町村が生活実態や将来像を勘案し、協定を結ぶことにより、自ら圏域決定。

今後、医療や産業振興、公共交通、環境・エネルギーなどの分野において、中心市と連携する市がそれぞれの議会での審議を経た後、一対一で協定を締結し、お互いに連携してこれらの事業に取り組んでいく予定です。

市では、圏域全体の将来像を見据えながら定住自立圏構想を押し進め、圏域住民が安心して暮らせる地域づくりを行ってまいります。

問 市企画課

☎ 24-7614

洲本市新庁舎整備等基本計画を

策定しました

市では、新庁舎整備の基本方針をはじめ、新庁舎の位置、新庁舎への導入機能などを明確にすることを目的に、「洲本市新庁舎整備等基本計画」を策定しました。

計画策定にあたっては、多くの市民の皆さんが利用する建物であることから、広く意見を聞く機会が必要と考え、

学識経験者、各種団体からの推薦者、公募委員、合わせて22人による「洲本市新庁舎建設等市民検討委員会」を設けました。この委員会は6回開催され、多くの意見、提案を

いただきました。

また、委員会の結果をまとめた基本計画案について、「パブリックコメント」を実施し、広く市民の皆さんの意見を伺い、その結果も踏まえて策定しています。

このパブリックコメントの実施結果と「洲本市新庁舎整備等基本計画」については、市のホームページ、市総務課、窓口サービス課（五色庁舎）で閲覧できます。

問 市総務課

☎22-7067（直通）



税を考える週間

国税庁では、毎年11月11日から17日までを「税を考える週間」として、広報広聴活動を行っています。

平成24年度は「税の役割と税務署の仕事」をテーマに、重点広報項目の「国税電子申告・納税システム（e-Tax）の利用促進」などの情報を国税庁ホームページなどで提供しています。

期間中は、イオン洲本店で税に関する小学生の書道、ポスターと中・高校生の作文の入賞作品の展示を行いますので、ぜひ、ご来場ください。

問 洲本税務署 ☎24-1212
● 国税庁ホームページ
<http://www.nta.go.jp>

洲本都市計画臨港地区

古茂江港の臨港地区指定(案)を

縦覧します

市都市計画課では、古茂江港における臨港地区の指定区域(案)を縦覧します。

下記の縦覧期間中に、案に対して意見がある場合は、洲本市長に意見書を提出することができます。

▼案件名

洲本都市計画臨港地区

▼縦覧期間

10月22日(月)～11月5日(月)

▼縦覧場所

市都市計画課(本庁舎2階)

▼意見書の提出方法

住所、氏名、年齢、案件についての意見を書いて提出してください。

▼意見書の提出先

〒656-8686

洲本市本町三丁目4番10号
市都市整備部都市計画課

問 市都市計画課

☎24-7611（直通）

自賠責保険(共済)の有効期限は切れていませんか?

自賠責保険(共済)は、万一の自動車事故の時に、基本的な対人賠償を目的として、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務づけられています。自賠責保険(共済)への未加入での運行は法令違反となります。特に、車検制度のない250cc以下のバイク(原動機付自転車・軽二輪自動車)は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意ください。

※詳しくは、<http://www.jibai.jp>
問 神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門 ☎078-453-1104

今月は

国民健康保険税 第4期

(納期限：10月25日(木))です。

お届けしている納付書で、納期限までに納付ください。

※口座振替を申し込み済みの場合は、各納期限に申し込み口座から振り替えます。

※口座振替の申し込みは、ご利用の金融機関、または市の税務課窓口で受け付けています。

問 市税務課 ☎24-7603（直通）
※夜間・休日・祝日をのぞく

横断歩行者の死亡事故が発生しています

9月29日午後6時ごろ、洲本市内で、車と横断歩行者による交通死亡事故が発生しました。夕暮れ時は、車両の早めのライト点灯、歩行者・自転車利用者は明るい服装、反射材の活用で交通事故防止に努めましょう。



洲本警察署 ☎22-0110

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」 洲本代表 国体壮行会

9月29日(土)から10月9日(火)まで岐阜県内で開かれるぎふ清流国体に参加する市内の選手、監督を激励する壮行会が9月20日(木)に開かれました。壮行会では、竹内市長が、「体調を整え、ベストを尽くして、悔いのないように」と激励しました。今回出場した選手と10月8日時点の結果は、次のとおり(敬称略)。

◎ボート競技

▽成年男子 シングルスカル

武田康嗣 4位

▽少年男子 シングルスカル

福井 康 優勝

▽少年男子 ダブルスカル

酒田桂佑、柳川正樹

予選敗退

▽成年女子 舵手つきクオドルプル

空 史恵 準決勝敗退

▽少年女子 ダブルスカル

川合 瞳、有宗幸穂 7位

●成年男子 監督…山崎元和

◎軟式野球競技

▽成年男子

金谷良太 2回戦敗退

◎陸上競技

▽少年男子 A 1000m・400m・4×100mリレー

魚里勇介 1000m 3位

400m 5位、4×100mリレー 準優勝

0mリレー 準優勝

▽成年女子 個人メドレー 2

400m 打越雅美

個人メドレー 準優勝

東日本大震災被災地復興支援 南三陸町へ 市職員を長期派遣

事務職員 石川慶彦さん



全国市長会からの要請を受け、本市では、宮城県本吉郡南三陸町に10月1日から、来年の3月31日まで、事務職員1人を派遣します。

これまで、震災発生直後の平成23年3月31日から10月29日までの間に、1週間程度の短期派遣として、延べ74人の職員を被災地へ派遣しましたが、半年間の長期派遣は初めてとなります。

9月26日には、派遣職員の石川慶彦主任に、竹内通弘市長から辞令が渡され、「慣れない土地で大変だと思うが、健康に留意してがんばってきてほしい」と激励の言葉がかけられました。

石川主任は、10月1日から、同町の復興事業推進課に配属され、高台への集団移転などの事務に関わっています。



いきいき わくわく まちづくり

洲本市老人クラブ連合会

洲本支部が三熊山を清掃しました

9月24日(月)、洲本市老人クラブ連合会 洲本支部のメンバーが、三熊山清掃のボランティア活動を行いました。

この清掃活動は、9月の「高齢者福祉月間」や「敬老の日」に対する感謝の気持ちを込めて実施されています。洲本支部では、26年前から行っており、この日は本丸と東園地、東の丸武者だまりの三カ所に分かれ、約150人が2時間余り、草刈機や熊手などを使って雑草を刈ったり、落ち葉を拾い集めたりしました。



農業の祭典

洲本市農業祭・畜産共進会が開催

9月15日(土)、洲本市農業祭・畜産共進会がアスパ五色で開かれ、2,000人を超える市民でにぎわいました。畜産共進会では、本市の誇る和牛や乳牛が92頭出品され、愛情をこめて育てた自慢の牛の発育や姿を競い合いました。

また、イベント会場では、子ども達の動物ふれあいコーナー、地元でとれた野菜や花などの販売、淡路牛焼肉の試食コーナーや淡路島牛乳の無料配布などが行われ、地元の味を堪能しながら、生産者と消費者の交流が図られました。



市立・私立認可保育所(園)

新・入園児を募集します!

受付：11月19日(月)～24日(土)まで(祝日を除く)

市内の各保育所(園)では、平成25年4月から入所(園)を希望する幼児の「入所申込書」を受け付けます。

受付時間

午前8時30分～午後5時15分
※24日(土)は保育所(園)で午前中のみ受け付けます。

対象

母親などの保護者が働いている、出産や病人の看護をしているなど、常時、家庭で保育できない子ども。

手続きに必要な書類

①保育所入所申込書 ②家庭調査票 ③保育料預金口座振替届出書 ④添付書類(家庭の状況により事業主の就労証明書、民生児童委員の意見書、源泉徴収票などが必要)



保育所(園)名	定員(人)	所在地・電話番号
市立	洲本保育所	100 栄町三丁目3-10 ☎22-0863
	中川原保育所	70 中川原町中川原970 ☎28-0120
	安乎保育所	80 安乎町中田9-1 ☎28-0173
	由良保育所	90 由良二丁目5-24 ☎27-0079
	都志保育園	70 都志万歳388-1 ☎33-0345
	鮎原保育園	110 鮎原西142-4 ☎32-0037
	広石保育園	90 広石中1446-1 ☎35-0300
	鳥飼保育園	60 鳥飼中317-2 ☎34-0404
私立	堺 保育園	45 上堺33-2 ☎35-0130
	洲本保育園	140 本町七丁目4-25 ☎22-0897
	千草保育所	90 千草己25 ☎22-6600
	大野保育所	60 大野740-1 ☎24-4750

▽市福祉課(みなど元気館内)
☎22-33332 (直通)



平成25年度

市立幼稚園

新・入園児を募集します!

受付：11月5日(月)～9日(金)まで

市立幼稚園では、平成25年4月から入園を希望する市内在住の幼児を募集します。

受付時間

午前9時～午後5時

手続き

入園を希望する幼稚園で入園願書

を受け取り、必要事項を記入

のうえ、幼児同伴で、その

幼稚園に提出してください。

願書は、10月15日(月)から配布

します(予定)。

◆園児1人に対し、複数の幼稚園に願書を提出できません。

◆入園の条件は次のとおりです。

★保護者と同居している幼児

★完全容易に通園できる幼児

★教育にたえる程度に健康で

ある幼児

◆希望者が募集人員を超えた場合は抽選とします。

抽選日 11月21日(水)

※該当する園にて午後3時からの予定

入園料 6,500円

保育料

6,500円(月額)

※入園料・保育料はいずれも平成24年度現在の金額

で、変更となる場合があります。

保育時間

午前9時～午後2時

※年齢を問わず

問▽左記の各幼稚園

▽市教育委員会学校教育課

☎22-6266 (直通)

募集人数

幼稚園名	定員(人)	募集人数(人)			所在地・電話番号
		5歳児	4歳児	3歳児	
洲本	85	30	30	20	山手二丁目1-7 ☎22-1212
第一	65	28	30	—	宇山一丁目1-37 ☎24-1037
第三	65	9	30	—	物部一丁目1-49 ☎22-2183
加茂	65	23	30	—	下内膳477-1 ☎22-9244
大野	130	51	60	—	大野318 ☎22-3540

対象

- 5歳児：H19.4.2～H20.4.1生まれ
- 4歳児：H20.4.2～H21.4.1生まれ
- 3歳児：H21.4.2～H22.4.1生まれ

【注】5歳児の募集人数は、9月末現在の在園児を除いた数です。入退園により多少変動します。

高齢者のみなさんへ
季節性インフルエンザ
予防接種を受けましょう！

インフルエンザは、突然の高熱や全身のだるさ、筋肉痛など全身に症状が現れるのが特徴です。時には、気管支炎や肺炎などを併発し、重症になることがあります。特に高齢者では、インフルエンザが重症化すると命にかかりますので、予防が大切です。毎年流行する季節性インフルエンザから健康を守るために、予防接種を受けましょう。



自己負担は

1,000円

次に該当する高齢者は、季節性インフルエンザの予防接種を自己負担1,000円で受けられます。接種時に、医療機関の窓口まで、健康保険証を必ず持参ください。

対象者
 ① 洲本市に住民登録をしている満65歳以上の人
 ※接種日に満65歳に達している人

② 60歳以上65歳未満の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に一定の障害がある人や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害がある人
 ※該当する人は主治医にご相談ください。

相談ください。
 身体障害者手帳の提示が必要です。

接種期間
 12月31日(月)まで

医療機関
 淡路島内の医療機関で接種できますが、事前に予約・確認が必要です。

なお、淡路島外の医療機関では、自己負担1,000円で予防接種を受けられない医療機関がありますので、健康増進課まで問い合わせてください。

手続き

医療機関への事前予約が必要です。
問 市健康増進課(みなと元気館)
 ☎ 22-33337(内線521)

国民健康保険被保険者証の更新

11月中に簡易書留で郵送します！

退職被保険者証も同色に

洲本市国民健康保険被保険者証が12月1日から新しくなります。また、このたびより一般被保険者証と退職被保険者証は同色となります。

新しい国民健康保険被保険者証を11月末までに簡易書留で郵送しますので、印鑑を押して受け取ってください。

不在の場合には、日本郵便(株)本郵便局から「郵便物等お預かりのお知らせ」が届きますので、その内容に従って受け取ってください。

なお、市役所で更新手続きが必要となる人には通知しますので、下記の窓口へお越しください。

ジェネリック医薬品
希望カードを配布

ジェネリック医薬品は先発医薬品に比べて開発期間・費用が少なく安価なため、医療費の節約に役立ちます。



ジェネリック医薬品を希望する場合は、病院や薬局でジェネリック医薬品希望カードを提示し、医師や薬剤師にご相談ください。

※現在、学生用の被保険者証の交付を受けている人は再度申請が必要です。在学証明書、世帯主の新しい被保険者証、印鑑を持参のうえ手続きを行ってください。
問 保険課国民健康保険係
 ☎ 24-7635

全島一斉清掃の日

11月11日(日)

清掃する場所
 各町内会の道路・河川・公園などの公共施設
ゴミを置く場所
 各町内会指定の場所
ゴミの出し方
 燃えるゴミ → 黄色の袋
 燃えないゴミ → 青色の袋
 ※草は黄色の袋へ、木は1m以内に切って紐で結束。
問 市環境整備課 ☎ 24-7607(直通)



ご存知ですか？後見制度

判断能力が不十分な方の暮らしと財産を守る制度です。後見制度に精通した専門家が丁寧にアドバイスします。
 (公益社団法人 成年後見リーガルサポート 会員)

相続手続 成年後見のことならお任せください
広告
 司法書士 行政書士 ひろせ法務事務所
 洲本市五色町都志382-1 五色センタープラザ1階
 女性司法書士も在籍
 司法書士 廣瀬 政行
 司法書士 廣瀬 仁美

ご相談だけでもお気軽にどうぞ
☎ 0799-33-0217
 平日9時～18時
 インターネットなら24時間相談可能
ひろせ法務事務所 **検索**

災害に備えて

『地域防災訓練』を実施します

この訓練は南海トラフ巨大地震を想定し、防災関係機関の連携強化と地域の防災力強化を目的に実施されます。地域住民や行政、防災機関などが協力して島内3市で一斉に行う訓練です。

本市では、第一部に内町地区、外町地区、塩屋地区の市民を対象に、津波避難ビル（イ

オン洲本店）を舞台とした避難訓練を行います。

第二部では広域消防ビル横の防災公園で市民と消防団、広域消防により、初期消火訓練、災害時の搬送訓練などを行います。

また、防災グッズの展示コーナーや日赤奉仕団による炊き出し訓練も行われ、参加者や

来場者に豚丼を配布します。

防災の意識を高め、災害への備えを考える機会ですので、ぜひご来場ください。

▼日時

10月28日(日)

第一部：午前9時から

第二部：午前10時15分から

▼場所

第一部：イオン洲本店

市消防防災課

☎24-7623 (直通)

第二部：防災公園

(広域消防ビル横)



実施中

住宅の簡易耐震診断 耐震改修補助制度

- 簡易耐震診断は、住宅所有者が一部費用を負担することで、住宅の耐震性を建築士が診断するものです。(条件あり)
- 耐震改修補助制度は、簡易耐震診断で安全性が確保できないと判定された住宅の耐震改修工事の計画(設計)や工事費用を県が補助する制度です。

締切日 **12月28日(金)** (予算がなくなり次第終了します)

☎ 県土整備部建築指導課 ☎078-362-4340

☎ 市都市計画課 ☎24-7611 (直通)

もうつけましたか？

住宅用火災警報器



消防法・火災予防条例の改正により、平成23年6月1日から、すべての住宅に、住宅用火災警報器の設置が義務化となりました。

住宅火災による死者の多くが高齢者で「逃げ遅れ」によるものです。

火災警報器は火災の煙を早期に感知して、あなたや家族の「いのち」を守ります。未設置の住宅には、早めに設置をしてください。

住宅用火災警報器の 悪質訪問販売にご注意を!!

高齢者の世帯に、住宅用火災警報器を相場より高額な値段で訪問販売する事例が増えています。

市や消防署の職員が直接訪問して販売することや、特定の業者に販売を委託することは絶対にありません。

もしトラブルにあった場合は、すぐに消費生活センターにご相談ください。

淡路消費生活センター ☎23-0993

洲本市消費生活センター ☎22-2580

淡路広域消防本部予防課 ☎24-2416

今日も楽しいおつきあい



淡路信用金庫

理事長 瀧川好美

本店	洲本市宇山
店舗	島内 20店
	神戸市 6店
	明石市 2店
	西宮市 1店

広告

第65回

洲本市美術展

▼日時

10月31日(水)～11月4日(日)

午前9時～午後6時

※最終日は午後3時まで

▼場所

市文化体育館

▼展示作品

日本画、洋画(版画)、書

彫塑、工芸、写真

問 市社会教育課

☎24-7631(直通)

▼日時

10月27日(土)、28日(日)

午前10時～午後4時

2012
「図書館市民まつり」

▼場所

洲本図書館、市民広場

▼内容

▽展示…生花、造形、籐手芸、折り紙、盆栽、寄せ植え、墨彩画、水墨画、児童室飾り、絵手紙、ちぎり絵

▽活動交流…コーラス、鼓隊・吹奏楽・大正琴・バンド、ライブ演奏、煎茶、バザー、CD図書づくり、

極真空手、バトントワリング、クイズラリー、音声ソフトを使ったPC活用、スタンプリー、名画鑑賞会、ダンス、ギター

問 洲本図書館 ☎22-0712



市民の警察官賞表彰・暴力団追放洲本市民大会

市と洲本防犯協会、洲本警察署は、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して「市民の警察官賞表彰・暴力団追放洲本市民大会」を開催します。

来場者全員に参加記念品が配られるほか、お楽しみ抽選会があります。どなたでも参加できますので、気軽に参加してください。

日 時 **10月24日(水)** 午後1時30分～

場 所 市文化体育館 文化ホール
「しばえもん座」

入場料 無料(申し込み不要)

問 市秘書課 ☎26-0175(直通)

下水道施設見学会の開催

市では、下水道を広く市民に理解していただくために、下記のとおり施設見学会を催します。

グループや家族での申し込みも受け付けておりますので、普段見ることのできない施設の内部を見に来ませんか。

日 時 **11月4日(日)** 午前9時～12時

見学場所 洲本環境センター(すいせん苑)、洲浜ポンプ場

対象者 市在住の人(先着60人まで)

集合場所 洲浜ポンプ場 駐車場

★参加者全員に記念品を贈呈します。

申・問 市下水道課 ☎23-3794(直通)



夢あるくらしのパートナー



淡陽信用組合

理事長 勢戸 堅祐

本店/洲本市栄町一丁目3番17号 TEL.0799(22)5555(代)
店舗 淡路地域17カ店 阪神地域2カ店 播磨地域7カ店

広告



催し

洲本市民工房展覧会 (3階ギャラリー・入場無料)

十の会 三人展
―藤井のぶお、堀江浩治、前川勉―

十の会のメンバー、3人による絵画作品と生活廃材を使った作品、合計60点を展示。

▼展示期間

11月2日(金)～7日(水)

▼時間

午前10時～午後5時

※初日は正午から午後5時

まで。最終日は午後4時まで。

ラストレポート

「この世に生を受けて」

動物の命の大切さをテーマにした写真展です。

▼日時 11月11日(日)
午前10時～午後4時

▼場所 洲本市民工房

☎ 22-3322

洲本中央公民館まつり

公民館講座や自主サークルの日頃の成果として、受講生の作品を展示します。

▼日時 11月22日(木)～23日(金)

午前9時～午後6時

※23日は午後4時まで

▼場所 洲本中央公民館

▼展示作品 書道、日本画、編み物、おし花、木彫

※洲本実業高校茶道部による

呈茶が23日の午前10時から

午後3時まであります(お

茶券300円)。

▼洲本中央公民館

☎ 22-1280

人権を考える会

「フラガール」上映

昭和40年代、福島県いわき

市の炭鉱町に誕生した常盤ハ

ワイアンセンターにまつわる

実話を基に、フラダンスショ

を成功させるために奮闘する

人々の姿を描いた感動の作品

です(主演・松雪泰子)。

▼日時 10月28日(日)

▼開場 午後1時30分

▼開演 午後2時

▼場所 市五色庁舎3階

「五色文化ホール」

▼入場料

無料(申し込み不要)

▼市窓口サービス課(五色庁舎

☎ 33-0162 (直通)

五色中央公民館主催映画祭

「オカンの嫁入り」上映会

家族をテーマにした母と娘の物語です(主演・大竹しのぶ、宮崎あおい)。

▼日時 11月17日(土)

▼開場 午後1時30分

▼開演 午後2時

▼場所 市五色庁舎3階

「五色文化ホール」

▼入場料

無料(申し込み不要)

▼五色中央公民館

☎ 33-1930

みつあい館

リサイクルフェア

家庭で眠っている、まだ使える家具や子ども用品などを、必要な人に貰っていただくリサイクルフェアを開催します。

▼日時 10月26日(金)～28日(日)

午前9時～午後5時まで

※最終日の28日は正午まで。

※展示終了後に抽選会をします。

▼展示会場 リサイクルセンターみつあい館(2階特設会場)

※リサイクル品のため性能保証はできません。

※フェア用に出品する家具やペーパーカーなどを随時募集しています。但し、電化製品や壊れて使えないものは対象外です。

▼みつあい館 ☎ 26-1153

地域の歴史勉強会

「国生み神話と淡路島」

▼日時 11月12日(月)

午後7時～午後8時30分

▼場所 洲本商工会議所

3階ホール

▼講師 武田信一先生

▼参加費 無料

▼洲本商工会議所女性会事務局

☎ 22-2571

五色図書館

「秋の図書館フェア」

本のリサイクル市、人形劇、おはなし会、作品展示など。

▼開催日 11月10日(土)、11日(日)

▼五色図書館 ☎ 32-1693

淡路医師会市民公開講座

「肝炎の最新治療」

肝炎の実態や最新治療についての講演会などを開催します(入場料無料)。

▼日時 11月25日(日)

午後1時～3時

▼場所 南あわじ市

西淡公民館大ホール

▼内容

①「淡路島における肝炎の現状(仮)」

県立淡路病院内科部長 西 勝久先生

②「B型・C型慢性肝炎と肝

癌の内科的治療の進歩」

武蔵野赤十字病院副院長 泉 並木先生

▼洲本市医師会 ☎ 22-3515

食のブランド「淡路島」

オータムメッセ2012

淡路島の食材を使った「食の見本市」を開催します(入場無料)。

▼日時 11月17日(土)、18日(日)

午前10時～午後4時

▼場所 淡路夢舞台

▼食のブランド「淡路島」推進

協議会(真洲本農林水産振興

事務所内) ☎ 26-2097

淡路島民俗芸能

フェスティバル

淡路人形浄瑠璃をはじめとした淡路島内で受け継がれている伝統芸能などが一堂に集まり、その魅力を発信します。

▼日時 11月18日(日) 午前10時30分〜午後3時30分
▼場所 市文化体育館しばえもん座

▼淡路島民俗芸能フェスティバル 実行委員会事務局 淡路文化会館内 ☎0799-8511391

景観園芸学校学園祭

寄せ植えコンテストや学生による企画・展示、窯焼きピ

ザの販売などを実施します。

▼日時 11月3日(土)、4日(日) 午前10時〜午後4時

▼場所 淡路景観園芸学校
☎0799-8213131

募集

家庭用品等修理会

消費者協会洲本支部では、家庭にある刃物の刃研ぎ、傘・鍋の修繕、鍔掛けなど簡単な修理を行います。

▼受付日時 11月7日(水) 午前9時〜正午

洲本会場

第4回 永田青嵐顕彰 全国俳句大会 作品募集



今年も淡路島が生んだ俳人、永田青嵐を顕彰する俳句大会を開催します。俳句づくりを通じて正しい日本語を学ぶ機会として、多くの作品を募集します。

▼投句要領 未発表の近作2句1組(有季定型) ※氏名、住所などの必要事項を明記の上、下記まで郵送ください。(FAX、Eメールも可能。詳しくは、下記まで。)

▼申込締切 11月30日(金)

▼表彰・発表 平成25年3月頃

▼お問い合わせ 淡路くにうみ協会
☎24-2001 FAX25-2521
Eメール:awajishima@kuniumi.or.jp
http://www.kuniumi.or.jp/

- ▼返却日時 11月8日(木) 午後3時から返却
- ▼場所 洲本中央公民館
- ▼修理対象品 刃物、鍔掛け、傘、カンナ類
- ▼料金 包丁類350円、ハサミ類200円、洋傘250円、カンナ類350円
- ▼市人権推進課 ☎22-2580 (直通)
- ▼第3回洲本市民人権講座 参加者
- ▼日時 11月22日(水) 午後2時30分
- ▼場所 市人権文化センター
- ▼内容 講演 演題「子どもの人権を考える」
- ▼講師 後藤みなみ氏
- ▼募集人数 50人
- ▼募集期限 11月15日(水)
- ▼市人権教育研究協議会事務局 ☎・FAX22-1282
- ▼第49回洲本市民体育大会 市民ウォークの集い2012
- ▼日時 11月23日(金・祝) 午前9時30分
- ▼場所 洲本第二小学校(集合)〜三熊山自然散策コース
- ▼参加資格 健康な人、小学

食品事業者

表示適正化技術講座

「表示」は、食品を購入するときの重要な手掛かりです。適正な食品表示を行うための表示方法などを紹介します。

▼日時 11月22日(水) 午前10時〜午後12時30分

▼製造業者向け

▼小売・卸・流通業者向け

校4年生以上は2人以上のグループ(小学校3年生以下は保護者同伴)で参加。

▼参加費 無料

▼持ち物 昼食・水筒・雨具・タオル・敷物・ゴミ袋など

▼同大会事務局 武田 ☎22-2337

▼日時 10月27日(土) 午後1時20分〜午後4時40分

▼場所 淡路市志筑 しぶのおだまき館 大会議室

▼定員 70人

▼淡路くにうみフォーラム

知事を交えて、淡路島の魅力や可能性を話し合います(入場無料)。

▼日時 10月27日(土) 午後1時20分〜午後4時40分

▼場所 淡路市志筑 しぶのおだまき館 大会議室

▼定員 70人

▼淡路くにうみフォーラム

知事を交えて、淡路島の魅力や可能性を話し合います(入場無料)。

新鮮な

もぎたてみかんはいかが?

みかんの木のオーナー

洲本市果樹協会では、消費者と生産者の交流を深めることを目的に、市民の皆さんを対象として、物部の農園で「みかんの木のオーナー」を募集します。

▼料金 1本につき3,500円

※1本につき20kg程度の収穫が見込め、収穫までは園主が管理します。

▼申込締切 10月31日(水) 必着

▼申込方法 住所・氏名・電話番号と「みかんの木のオーナー希望」と記入のうえ、官製はがきで郵送か、ファックスで申し込みください。※申し込みは市内在住者で、1家族につき1通のみ有効。多数の場合は抽選。

▼お問い合わせ ☎656-8686 洲本市果樹協会事務局(市農林水産課内) ☎24-7619(直通) FAX25-3590

お知らせ



淡路文化史料館

「関西文化の日」無料入館

淡路文化史料館では、「関西文化の日」に合わせて、11月17日(土)と18日(日)の2日間を無料入館日とします。

問 淡路文化史料館

☎ 24-33331

狩猟期間は、11月15日から翌年3月15日まで

狩猟期間とは、狩猟者(狩

猟免許を所有し、県に登録を受けた者)が、銃やわなを使用して鳥獣を捕獲できる期間です。狩猟者は、ルールやマナーを守り、安全な狩猟を心がけましょう。

また、狩猟事故防止のため、山林に入る際には、目立つ服装をするなど十分気をつけましょう。

問▽市農政課
☎ 33-1924 (直通)
▽洲本農林水産振興事務所
森林林業課
☎ 26-2103 (直通)

大阪湾海上交通センターと江崎灯台の施設一般公開

11月1日は灯台記念日です。

大阪湾海上交通センターでは、この記念日に合わせ、施設の一般公開を行います。

また、わが国で8番目に建設された石造りの灯台である江崎灯台も一般公開されます。

▼日時 11月3日(土)

午前10時～午後3時

※灯台は午前9時30分から

▼場所 淡路市野島江崎

問▽大阪湾海上交通センター
☎ 0799-8213050

▽神戸海上保安部交通課

☎ 078-327-8835

相談



女性の人権ホットライン

～全国一斉強化週間～

夫やパートナーからの暴力や、職場でのセクシャル・ハラスメントなど、女性の人権問題について、専用電話による相談を受け付けます。

相談費用は無料です。

▼日時

▽11月12日(月)～16日(金)

ウォーキング&ジョギング教室開催

日時 11月18日(日) 午後3時～4時30分(90分)

開催場所 市民交流センター 陸上競技場
※雨天時は体育室で行います。

参加料金 500円(参加賞あり) 定員 40名

参加対象 健康で歩行に問題のない人

参加方法 市民交流センターへ事前にお申し込みください。

問 市民交流センター ☎ 24-4450



献血

▼10月28日(日)

▽午前10時～正午

午後1時～午後3時30分

ウエルネスパーク五色

問 市健康増進課

☎ 22-3337 (直通)



市文化体育館トレーニングルーム

スポーツで汗をかいてみませんか

運動に適したさわやかな秋です。シェイプアップや体力づくりを始めませんか? 簡易カウンセリングを実施していますので、初めて利用する人でも安心して汗を流せます。

利用料 定期利用料 4,000円/月

持ち物 運動できる服装・汗拭き用タオル・室内シューズ

問 市文化体育館トレーニングルーム ☎ 22-6726

お得な
定期券
もあります

兵庫県最低賃金は

時間額 **749円**です。(平成24年10月1日改正)

最低賃金は、パートタイマー、アルバイトなどすべての労働者に適用されます。

特定(産業別)最低賃金が適用される業種については、例年12月1日に改訂されます。

問 兵庫県労働基準部賃金課 ☎ 078-367-9154
淡路労働基準監督署 ☎ 22-2591

請求期限が伸びました

C型肝炎救済特別措置法の改正に伴い、特定の血液製剤によりC型肝炎ウイルスに感染した人に対する給付金の請求期限が平成30年1月15日に延長されました。

詳しくは、厚生労働省HPまたは相談窓口まで。

☎ 0120-509-002 (平日9時半から18時まで)

厚生労働省

健康だより

「健康すもと21」の乳幼児・学齢期の取り組みを紹介しします

健康的な生活習慣

生活習慣病は大人だけの問題ではありません。子どもの時からの食べたり、飲んだりの生活習慣が、大人になってからの生活習慣に大きく影響します。

そのため、「健康すもと21」の乳幼児学齢期の取り組みでは、健康的な生活習慣を身につけた子どもを増やすことを目標にしています。

アンケート調査

小学6年生と中学3年生を対象に、健康づくりに関するアンケート調査を実施。

その結果、ほとんどの子どもが朝・昼・夕の三食以外に飲食をしており、自分が1日に食べたらい目安量を知らない小中学生が7割以上いる実態がありました。

乳幼児期が大切

子どもが成長するに伴い生活習慣は確立されてきます。確立された生



保健師 松本明美

活習慣を改善することは簡単ではないため、乳幼児期から健康的な生活習慣を身につけることが大切です。



市では、乳幼児健診で、子どもの食べ方（リズム・内容・量）の現状を見る機会を持ち、お母さん自身が自分の子どもに合った生活習慣について考えられるように、サポートしています。このほか、個別相談も行っていますので、分からないことや心配なことがあれば、健診時、それ以外でも、電話などで気軽にご相談ください。

市健康増進課（みなと元気館）
☎ 22-33337（直通）

こどもの予防接種

4種混合ワクチンが導入されます

11月から、百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオの4種類のワクチンが混合された4種混合ワクチンを導入します。

対象者 平成24年8月以降に生まれた人（生後3ヶ月時に予診票を送付します）

接種スケジュール

初回接種3回、追加接種1回の計4回

注意 次の人は4種混合ワクチンの導入にかかわらず、3種混合ワクチンと単独の不活化ポリオワクチンを接種してください。

- 生ポリオワクチンを1回接種した人
- 単独の不活化ポリオワクチンを1回以上接種した人
- 3種混合ワクチンを1回以上接種した人



市健康増進課（みなと元気館）
☎ 22-3337（直通）

11月の健康カレンダー



母子健康手帳交付

内容		とき		場所
母子健康手帳交付	洲本会場	1日(木)、8日(木) 15日(木)、22日(木)	10:00 ~11:00	みなと元気館 2階
	妊婦相談(個別)	五色会場	13日(火)	
				五色庁舎

乳幼児健康診査・相談（対象者には個別に通知）

事業名	対象	とき	受付時間	場所
乳児健康診査	H24年7月生	15日(木)	12:45~13:00	みなと元気館 2階
7か月児相談	H24年4月生	28日(水)	9:30~9:45	
10か月児健康診査	H23年12月生	1日(木)	12:45~13:00	
1歳6か月児健康診査	H23年3月生	22日(木)	12:45~13:00	
2歳児相談	H22年8月生	21日(水)	13:00~13:15	
3歳児健康診査	H21年8月生	8日(木)	12:45~13:00	

その他の相談（要予約）

内容	とき	場所
すくすく子育て相談	9日(金) 9:30~11:00	みなと元気館2階
こころの相談	16日(金) 14:00~16:00	
筋力アップサークル 対象:概ね65歳以下の市民	7日(水)、14日(水) 21日(水)、28日(水)	五色トレーニングセンター
	8日(木)、15日(木) 22日(木)、29日(木)	みなと元気館
	働き盛り ヘルスアップ教室 ※対象者へは個人通知します	19日(月) 13:30~ 20日(火) 9:30~ 21日(水) 9:30~ 22日(木) 13:30~

市健康増進課 健康福祉館「みなと元気館」☎ 22-3337（直通）

夢工房体験メニュー ☎33-1540

パワーストーン教室 10/27

- 時間▶10:00 ●料金▶2,500円～(材料費込)
- 締切3日前

エッグクラフト教室 10/27

- 時間▶10:00 ●料金▶2,500円～(材料費込)
- 締切3日前

古代米の染色体験 10/27

- 時間▶13:30 ●料金▶1,200円(材料費別)
- 締切前日 ※定員20名

御殿手まりづくり教室 11/10

- 時間▶13:30
- 料金▶1日体験コース1,800円(キット代込)
基礎コース1,400円(キット代別)
- 締切1週間前

パステル絵手紙教室 11/11

- 時間▶14:00 ●料金▶1,500円(材料費込)
- 締切2日前 ※定員6名

とうがらしのリースづくり体験 11/11

- 時間▶14:00 ●料金▶1,500円(材料費込)
- 締切前日

紙おむつケーキづくり教室 11/16

- 時間▶13:00 ●料金▶3,000円～(材料費込)
- 締切前日

大きな松ボックリのミニツリーづくり体験 11/17

- 時間▶14:00 ●料金▶1,000円(材料費込)
- 締切前日

型染め体験(聖夜のタペストリー) 11/18

- 時間▶13:00 ●料金▶3,000円(材料費込)
- 締切前日 ※定員5名

ウェルネス通信



ウェルネスパーク五色
[高田屋嘉兵衛公園]

<http://www.takataya.jp/>

●とき 10月27日(出)
(主催)あわじ花みどり回廊・淡路花祭
推進協議会)
間 浜千鳥 ☎33-1600
秋のふれあい青空市
地元特産品の販売やフリーマーケット、
ステージショーなど楽しいイベントです。

●とき 10月28日(日)
間 浜千鳥 ☎33-1600
玉ネギ&じゃがいもオーナー募集
12月上旬に苗を植え、翌年6月頃に収穫します。
●玉ネギ
1区画/100株 2,000円
●じゃがいも
1区画/20株 2,000円
●申込締切 11月30日(金)
間 五色洋ランセンター ☎33-0261
●勤労感謝の日 限定回数券セール
勤労感謝の日に限り、11枚綴り回数券
をお買い上げの人に、さらに入浴券を2
枚サービスします。
●とき 11月23日(金)
●料金 大人 6,000円
シルバー(65歳以上) 5,000円
間 ゆくゆくファイブ ☎33-1601

音 楽 の ト ビ ラ

大阪音楽大学音楽専攻科の学生が、社会で力を試す場として、企画・制作・演奏までを専攻科の学生が共同で行うもので、毎年各地で開催されています。市文化体育館での3度目となるオータムコンサートでは、それぞれ器楽・声楽を専攻した学生が舞台に立ち、「音楽の扉」というコンセプトのもと、聴衆を素敵な音楽の世界へと案内します

プログラム

- ◆一部 モーツァルト作曲
-モーツァルトメロデーリレー ウォルフガングの玉手箱
マックス・ブルッフ作曲 -ロマンズop.85
ショパン作曲 -ノクターンop.9-2
ヨハネス・ブラームス作曲 -ヴァイオリンソナタop.78 第一章
平吉毅州作曲 カーニバルがやってきました
いたずら仔猫が2匹もいたさ 月明かりに踊っているのはなれ
四月の風は花の匂いをはこんでくる -カーニバルがやってきました
アンドレ・メサジエ作曲 -コンクールの独奏曲
- ◆二部 モーツァルト作曲
-オペラハイライトコジファンツウツァより

2012.10.27(土)
開演14:00 (開場13:30)

チケット500円 未就学児童の入場はご遠慮下さい
●チケット取扱 市文化体育館
五色図書館・五色庁舎総合窓口サービス課
パルティ・サンシャインホール・しばかホール
大阪音楽大学 音楽専攻科 福岡/TEL 090-5914-1073

1つなぐ工場 ■主催 新都心(文化体育館等)元気創造事業実行委員会 市文化体育館
TSUNAGURI FACTORY ■後援 大阪音楽大学

劇団四季 ミュージカル ガンバの大冒険



仲間を信じて、
立ちあがれ!

構成・演出=浅利慶太
原作=斎藤孝夫「冒険者たち」(岩波書店刊) 脚色=劇団四季 文芸部
作曲=いずみたく 作詞=山川啓介、梶賀千鶴子 振付=山田卓

未知への冒険が教えてくれる、勇気、優しさ、絆、そして友情。

2013.2.24(日) 開演15:00 (開場14:30)
公演時間 1時間55分(休憩含)

料金 全席指定 5,000円
※当日券は前売券の500円増し
※前売券で完売の場合は当日券の販売はありません
※3歳以上は有料(3歳未満の入場は不可)

前売開始日 一般販売 販売日 2012.11.11(日)
※チケット販売所:市文化体育館
※販売時間午前9時~午後7時まで
※1人で一度に買えるのは10枚まで

■主催 新都心(文化体育館等)元気創造事業実行委員会 市文化体育館 ■後援 洲本市

文化ホール しばえもん座
洲本市文化体育館

〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1丁目1番17号
TEL:0799-25-3321 FAX:0799-25-3325
休館日:火曜日(祝日の場合は開館、翌水曜日が休館になります)
※施設駐車場は収容数に限りがございますので、お乗り合わせ等ご協力下さい

11月の無料相談



下記以外の相談は、「市民便利帳」でご確認ください。

■ 法律相談 (予約制)

日時▷ 7日(水)、21日(水) 13:15~16:15
場所▷ 市役所北庁舎
予約 市人権推進課(北庁舎)
☎22-2580(直通)

■ 行政相談

日時▷ 14日(水) 13:15~15:00
場所▷ 市役所北庁舎
問 市人権推進課(北庁舎) ☎22-2580(直通)

■ 法律・人権・行政相談

日時▷ 14日(水) 13:30~15:00
場所▷ 五色中央公民館
問 市窓口サービス課(五色庁舎)
☎33-0161(直通)

■ 年金相談・ねんきん特別便相談 (予約制)

日時▷ 16日(金) 10:20~15:20
場所▷ 市文化体育館
※予約満席になり次第、受付を終了します。
問 市市民課(本庁舎) ☎24-7637(直通)

■ 司法書士による相談 (予約制・先着8人まで)

◆ 登記・法律相談

日時▷ 20日(火)、26日(月) 10:00~12:00
場所▷ 県洲本総合庁舎
問 司法書士山下富弘事務所
☎0799-23-9171

■ 行政書士による相談 (予約制・先着3人)

内容▷ 相続・農地法・契約関係
日時▷ 12日(月) 13:30~15:30
場所▷ 県洲本総合庁舎
予約 相談会担当・
行政書士瀧岡光子事務所 ☎32-1641

■ こころのケア相談 (予約制)

日時▷ 13日(火) 14:00~16:00
場所▷ 県洲本総合庁舎
予約 県洲本健康福祉事務所 ☎26-2060

■ テレビ電話による法律相談 (予約制)

日時▷ 毎週木曜日
13:00~15:00
場所▷ 県洲本総合庁舎
予約 淡路さわやか県民相談室
☎0120-36-7830

■ 教育相談 (予約制)

日時▷ 12日(月) 13:00~15:00
場所▷ 県洲本総合庁舎
予約 県淡路教育事務所 ☎22-4152

■ 農事相談 (地元農業委員との協議後で)

日時▷ 5日(月) 13:30~15:00
場所▷ 五色庁舎2階会議室
問 市農業委員会 ☎33-1940

■ 建築士事務所協会による住宅の耐震相談 (予約制)

日時▷ 28日(水) 13:30~16:00
場所▷ 県洲本総合庁舎1階
ロビー及び相談室
予約 構研設計一級建築士事務所
☎0799-64-1199

洲本図書館 ☎22-0712

- いっしょにおはなしかい (0~3歳児対象)
7日(水)、17日(土) 11:00~
- おはなし会 (3~6歳児対象)
10日(土)、24日(土) 14:30~
- もっとおはなし会 (小学生対象)
10日(土)、24日(土) 15:00~
- おりがみ教室
3日(土) 14:00~
- つくってあそぼう!
18日(日) 14:00~
※「おりがみ教室」・「つくってあそぼう!」は定員40人。参加申込は前日まで。
- 対面朗読(本の読み聞かせサービス)
目の不自由な人が対象。
事前申込が必要。

五色図書館 ☎32-1693

- えるる つくってあそぼう!
11日(日) 13:00~
※定員10人。参加申込は当日午前中まで。
- おひざのうえのおはなし会 (3歳くらいまでのおはなし会)
8日(水)、22日(水) 10:30~
- えるる倶楽部 10:30~
(絵本・紙芝居の読み聞かせ)
3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)、
17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)
※おはなし会とえるる倶楽部は参加申込不要。

11月の図書館だより



● 開館時間 ●

10:00~18:00

● 11月のカレンダー ●

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■ 両図書館休館日

※洲本・五色図書館の新着情報は、洲本市立図書館ホームページ(<http://www.library.city.sumoto.hyogo.jp>)

図書館職員が薦める

南海の要塞“洲本城”を知る



『史跡 洲本城』



みなさんは洲本城がどんな城で、どんな歴史をたどったか知っていますか。大阪湾や紀淡海峡を眺望できる位置にあった洲本城は“水軍の城”であり、戦国時代から江戸初期までの約100年間、南海の要塞として紀淡海峡ににらみを利かせていました。

この「洲本城」では、その一世紀を時局に沿って、洲本城にまつわるそれぞれの時代の出来事や人物を紹介しています。また、現在に残る洲本城の石垣についても触れられており、賤ヶ岳七本槍の一人脇坂安治が城主だった頃に築かれた貴重な文化財であることが分かります。

本書は、国史跡の指定記念に開催された「史跡洲本城展」の際に淡路文化史料館より発行された資料です。すでに販売は終了していますが、両図書館で閲覧、貸し出しをしています。洲本城が歩んできた歴史を改めて知ること、私たちが住む洲本の魅力を再認識するきっかけの一つになるのではないのでしょうか。



洲本図書館 職員
石谷綾子



交通ルールを守ろうね

交通安全教室が開催

9月21日(金)に洲本自動車教習所で交通安全教室が開かれ、洲本第一幼稚園の4・5歳児19人が参加しました。

この教室は、秋の全国交通安全運動に合わせ、洲本警察署も協力して実施されたものです。

この日、園児らは教習所職員から「道路に飛び出さない、道路で遊ばない、必ず横断歩道を渡る」という三つのルールを教わりました。その後、左右の安全を確認し、大きく手を上げて横断歩道を渡る練習をしました。



水面を滑走

「洲本川レガッタ」が開催



平成16年の台風23号災害からの復興を記念する「洲本川レガッタ」が、9月9日(日)に洲本川の河口付近で行われました。

このイベントはボート競技の普及も兼ねて行われ、洲本高校、洲本実業高校、柳学園高校のボート部や、ボート部の卒業生など30チーム、94人が参加しました。

当日は、時折、雨が降るあいにくの天気でしたが、参加者はみんな元気にオールを操り、水面を滑るようにボートを走らせた。

戦時中の通帳戻る

税関が保管している通帳が本人に



太平洋戦争中に中国満州で徴用工として働いていた川西俊一さん(桑間)の貯金通帳が、横浜税関に保管されていたことが分かり、9月21日(金)に67年ぶりに本人に返還されました。

川西さんの奥さんが、広報8月号に載っていた、

税関が引き揚げ者の通貨や証券を返還している記事を見て、神戸税関に問い合わせたことがきっかけです。

神戸税関では、「戦後67年となり、今回のように本人に返還できるのは稀です。親族などで心あたりのある人はぜひ問い合わせしてほしい」と話していました。

いざという時に備えて

「普通救命講習会」が実施

9月9日(日)は「救急の日」です。この救急の日に合わせて、淡路消防ビルで普通救命講習会が実施され、消防団員33人が受講しました。

この日の講習では、団員らが4班に分かれ、トレーニング用の人形を使い、胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸法、自動体外式除細動器(AED)の操作を一人ずつ実際に行い、いざという時に備えた心肺蘇生法を学びました。



淡路文化史料館開館30周年記念特別展

「近代日本名画展」が開催

淡路文化史料館の開館30周年を記念した特別展「近代日本名画展」が10月6日(土)から開催されています。これに先立ち、



開会式と内覧会が5日(金)に行われました。

この特別展では、全国でも有数の美術館である姫路市立美術館の協力を得て、日本画、洋画の名品を一堂に展示しています。特別展は休館日の毎週月曜日を除き、11月4日(日)まで開催されています。

編集後記

今月号の表紙写真は、農業祭での1枚。親子で牛を引くほほえましい姿に、家族のぬくもりが感じられますね。

さて、トピックスで紹介した戦争中の通帳が戻った記事。広報の記事を見たのがきっかけとのこと。広報が役に立ったかと思うと、少しうれしくなりました。

これからも皆さんに役立つ「広報すもと」になるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

